

天王予備校通信

2023年3月号(第164号)



2023年春 防衛医科大学校・自治医科大学 医学部医学科 合格

高知学芸高校 田中裕久さん

小学校4年から、9年間通いつづけてくれました。

中学入試も優秀な成績で進学し、学外在学中はよく模擬試験で学年1位をとっていました。

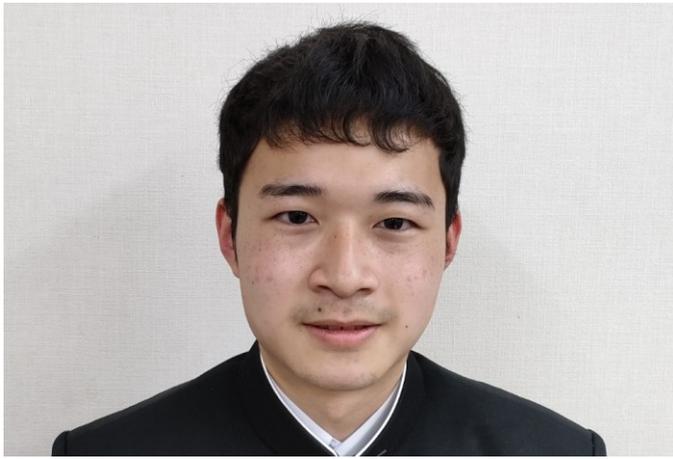
今後の活躍をお祈りいたします。

株 式 会 社 天 王 予 備 校

高知市旭町2-59-1 asahi@tenyobi.com

目 次

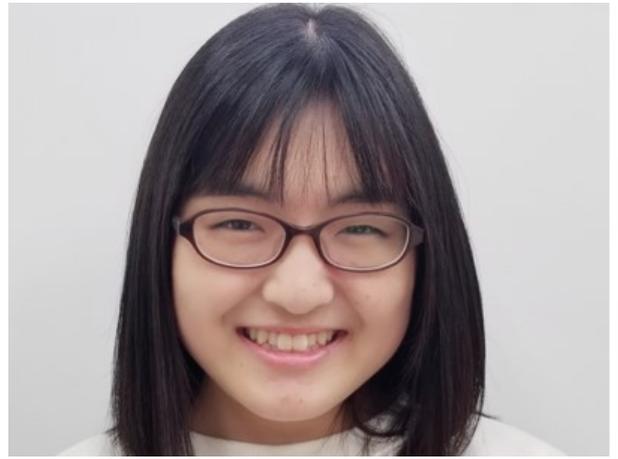
- 1 頁 2023 年合格体験記
- 4 頁 中学受験コース
- 6 頁 高校受験コース
- 7 頁 大学受験コース
- 12 頁 天王予備場が開発する学習管理ソフト Vektor を導入している会員塾の皆さん
- 20 頁 大内賢治さん (香川大学医学部での思い出)
- 22 頁 島田了輔さん (東京大学数理科学研究科)
- 24 頁 吉川勝太さん (一橋大学商学部での生活)
- 26 頁 谷口公太郎さん (岡山大学医学部について)
- 28 頁 川野香さん (岡山大学医学部での思い出～現在)
- 30 頁 杉本達哉さん (東京大学について)
- 32 頁 市村尚也さん (高知大学 医学部生活)
- 34 頁 江戸直樹さん (高知大医学部での思い出～現在)
- 36 頁 豊永嵩晴さん (京都大学工 盗作と創作)
- 38 頁 浜田桜音さん (東京学芸大学について)
- 40 頁 中山将さん (受験～高知大学 医学部生として)
- 42 頁 酒井菜帆さん (うりぼーのいる大学：神戸大学の生活)



自治医科大学 防衛大学 医学部

高知学芸高校 田中裕久さん

天王予備校には小4から通いました。今でも信じられないくらい合格したことがうれしいです。自分の夢であった医師への道を開くことができてよかったです。**Vector**は古文単語や日本史など基本知識の確認に役立ちました。これからも努力を積み重ねていきたいと思います。



高知大学 医学部医学科

土佐高校卒 吉井彩綾さん

高3の11月に入塾しました。現役合格を目指しましたが叶わず、共通テスト翌日から先生方の手厚いサポートのもとで勉強を始めました。**苦手だった物理や数Ⅲは、Vectorを使い9月の共通テスト模試では得点率を80%近くまで上げ、そのまま合格することができました。**



高知大学 医学部医学科

高知学芸高校 黒木瑛太さん

浪人生活の1年間、**最初は理系科目中心に、Vector課題を毎週3000問解いて穴をなくしました。**7月からは共通テストローラー（毎週1年分の問題を解く）に出席して実践力を養い、9月のベネッセ模試では総合得点率80%以上にまで成績を伸ばし、そのまま合格することが出来ました。



京都産業大学 経営学部 マネジメント学科

高知学芸高校 佐竹申伊さん

中3のときからお世話になりました。朝倉教室は友達も多く、Vector課題もさぼりがちでなかなかエンジンがかかりませんでした。高3の秋口からはスパートを掛けました。母親がお弁当を持たせてくれたので、塾に籠って効率よく勉強が進められました。競い合う仲間と共に最後まで走り切れました。



神奈川工科大学 情報学部情報メディア学科

高知学芸高校 吉岡琳太郎さん

学校から近く通いやすかったため通い始めました。5年間お世話になりました。**受験勉強で実践してよかったことは Vector と過去問をたくさん解いたことです。**直前期は朝から夜まで塾に来て頑張ったことです。最後の定期テストでは自己ベストをとれてよかったです。ありがとうございました。



東京工科大学 デザイン学部デザイン学科

高知学芸高校 池上巧さん

県大会が終わった5月に友人の紹介で天王予備校に通い始めました。**Vectorのおかげで勉強に対してやる気が出てきました。**わからない問題があっても先生が教えてくれて助かりました。**受験勉強で実践してよかったことは単語の反復練習と Vector の数学です。**ありがとうございました。



高知県立大学 文化学部文化学科

高知西高校 有岡大輝さん

共通テストまで Vector をやれたことはとても役に立ったと思います。ありがとうございました。また、選抜方法に小論文がありました。勉強しやすい環境でその勉強ができたことが良かったと思います。相談も真摯に乗ってくれたので、精神的な面でも支えとなってくれる場であったと感じました。



国際ファッション専門職大

大阪ファッション クリエイション・ビジネス学科

高知学芸高校 弘田紳之佑さん

友人が通っていたのと成績を上げたかったので天王予備校に通い始めました。教え方が丁寧でとても分かりやすかったです。

Vector 課題が遅れ気味のときは、いつも声掛けしてくれて、なんとかこなすことが出来ました。



愛光中学・土佐中学

旭小学校 宮下稜右さん

入試過去問を 10 年分以上解いて、どの年度でも最低点を超えていたので、自信をもって臨むことができました。**Vector や小テストで、目をつむっても解けるくらい基本を繰り返して良かったです。**塾から 19:30 には帰って、21:30 には寝て、朝 6:00 に起きて Vector をする習慣が良かったです。



土佐中学

旭小学校 寄田宗佐さん

4・5 年生の頃と比べると、成績が落ちてきて不安になることもあったけど、最後の模試では自己ベストを更新して、白線会模試では社会を頑張れば大丈夫という課題が浮き彫りになったので、残された時間を集中して取り組むことができました。苦しい時期もありましたが、楽しい 3 年間でした。



学芸中学

旭小学校 近森大知さん

理解するのに少し時間が掛かるタイプなので、その分、みんなより努力して、一度解いた問題はきちんと取れるように復習を大切にしました。合格してホッとしていますが、まだスタート地点に立っただけなので。これからも気を引き締めて頑張っていきます。



附属中学

附属小学校 門田光司さん

僕は漢字と社会が苦手だったので、それを克服するために暗記を頑張りました。算数や理科は自分で工夫して解くのが楽しかったです。みんなとは学校は違うけど、休憩時間に仲良くなれてよかったです。中学校に入っても、勉強やスポーツなど、色々なことに挑戦していきたいです。



学芸中学

伊野南小学校 増田安寿さん

算数や理科の過去問は、授業で繰り返し解いているうちに、だんだん解けるようになりました。

Vector 課題も毎週 3000 問とすごい量でしたが、スラスラ解けて模擬試験の成績も上がって、安心して受験に臨むことが出来ました。

中学になっても勉強を頑張りたいと思います。



学芸中学

高岡第二小学校 岩崎友亮さん

覚えることが大好きで、塾で過去問 10 年分を解いたときも社会科の点数はいつも高得点でした。算数や理科はなかなか点が取れませんでした。塾の先生に、学芸のよく出題される問題だけを絞って教えてもらったおかげで、入試でも結構解くことができ、無事合格することが出来ました。

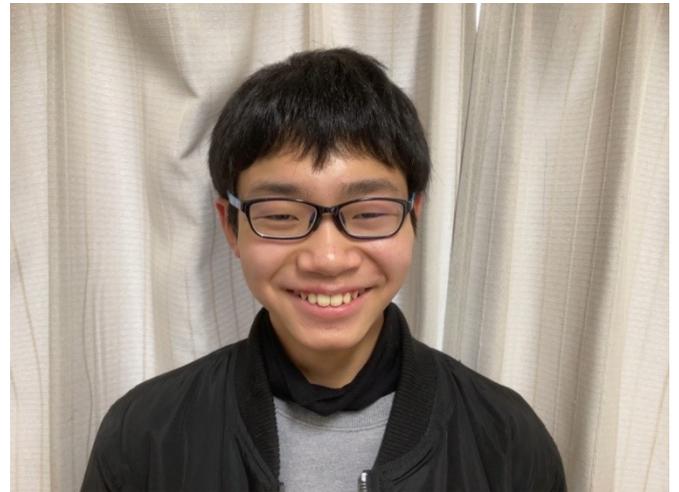


学芸中学

伊野南小学校 高橋侑右歩さん

6 年の夏から塾に通い始めて、最初の模擬試験の合格判定はひどかったです。**Vector で特殊算や理科・社会を毎週 3000 問解いているうちに、12 月の土佐塾模試で偏差値 50 を超えることができました。**

過去問も 10 年分を塾で繰り返し解いたおかげで、安心して受験に臨むことが出来ました。



学芸中学

高岡第一小学校 津野心希さん

算数は結構自信がありましたが、覚えることが苦手で、理科・社会の点数が伸び悩んでいました。

そこで、Vector で理科・社会の問題を、毎日 1000 問近く出してもらい特訓したおかげで、12 月の土佐塾模試では合格判定をとることが出来ました。

中学に入ってもこの調子で頑張りたいと思います。

中学受験コース

本年度の新しい試みとして、特待生試験を実施いたします

試験日 3月11日（土曜日）13～14時半（算数・国語）

200点満点で、180点以上は月謝無料・170点以上は月謝半額（当該学年の読解力・文章題・図形）

土佐上位合格（今年の生徒は、白線会20位）や、愛光・ラサールを目指す特別メニューを用意します。

偏差値30台からの学芸中学合格

今年の合格者には、入塾時の土佐塾模試の総合偏差値が34.35という生徒さんが学芸中学に合格しました。

最後の土佐塾模試（12月）は、偏差値50台を叩き出しています。

計算が遅い、読解力がない、図形問題が苦手、そのラインからのスタートでも、

Vector課題をなんとかこなしてもらえれば、学芸中学までであればなんとかなります。

田中さんは自治医大

宮下さんは愛光・土佐合格で

白線会20位

Vector課題、合格者の軌跡

学年	生徒氏名	正答率 (%)			解合数 (問)			滞在時間 (時間:分)		
		全て	今月	先月	全て	今月	先月	全て	今月	先月
高3	田中裕久	89.0		96.4	26281	0	357	2994:21	47:09	49:33
小6	宮下稜右	78.8	82.0	80.8	45210	812	1404	947:36	45:46	56:54
小6		71.1	76.5	68.6	85011	14161	12564	710:43	57:27	89:38

小6夏に入塾

偏差値30台から一気に15アップさせ

学芸に合格

Vector通信生小3で先取り学習

教室	生徒氏名	学校	学年	小学計算	小学特殊算	国語文法	国語読解	小学理科	小学社会
一ツ橋		一ツ橋小	小3	11% 10/89 未受験	100% 79/79 100点		100% 195/195	100% 309/309 80点	94% 319/338 未受験
一ツ橋		一ツ橋小	小3	6年計算復習 全問 1回なし 89問 チェックテスト 5問	特殊算(70単元 中1~10) 全問 1回なし 79問 チェックテスト 5問	なし	慣用句 全問 1回1.0 195問	理科 46単元中 (6~10) 全問 1回なし 309問 チェックテスト 5問	産業 旧石器~ 平安時代 全問 1回なし 338問 チェックテスト 5問

土佐中学 令和 5 年入試結果

受験者全員	国語	社会	算数	理科	全体
平均点	99	70	84	62	314
平均%	66	70	56	62	63
最高点	129	95	150	94	452
最低点	29	22	5	15	—

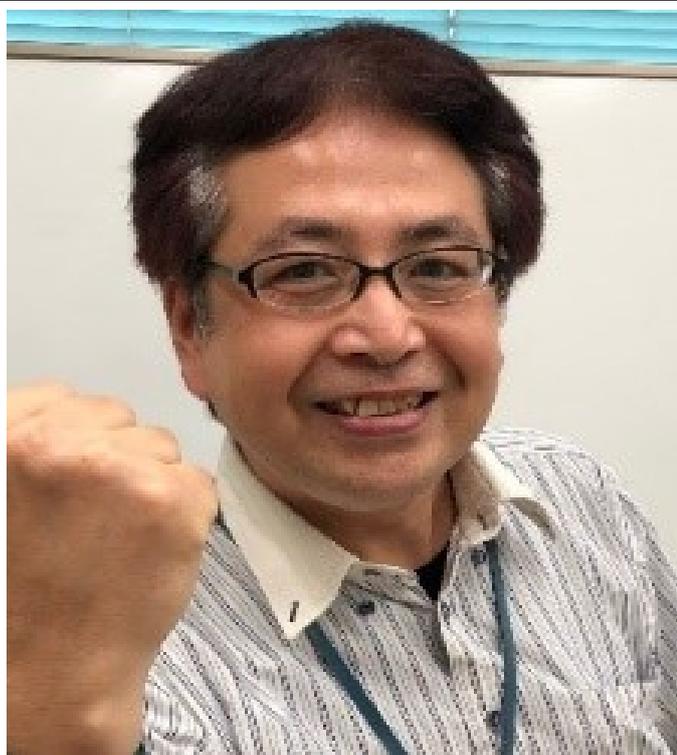
合格者最高点	452点	90.4%
合格者平均点	330点	66.0%
合格者最低点	275点	55.0%

高校受験コース(旭教室のみの開催となります)

2023 年度の新しい取り組みは

火曜と木曜に、黒木の集中特訓日を用意(3月13日より)

他の曜日も、毎日1時間前は黒木の質問タイムとなります



黒木伸也(高知大学理学部 宮崎県出身)

宮崎県で高校の教師(数学)をしていましたが、高知出身の妻との結婚を機に高知に移住し、天王予備校に入社しました。17年がたちました。

中学受験・高校受験の全科目の他、
大学受験では、数学・化学・物理・英語を担当。

高校入試は、内申点が半分強のウェイトを占めます。

1学期中間より、全員自己ベストがとれるように一緒に頑張りましょう。

Vector 課題の進捗状況は以下のような画面で管理しています

教室	生徒氏名	学校	学年	中学英語	中学数学	中学理科	中学社会	英文法
天王	[Redacted]	伊野南中	中3	100% 239/ 239 100点	8% 12/ 134	93% 539/ 575 未受験	83% 450/ 540 未受験	100% 261/ 261 100点
天王		伊野南中	中3	100% 239/ 239 100点	100% 134/ 134	100% 617/ 617 80点	100% 972/ 972 100点	100% 263/ 263 80点
天王		横浜中	中3	38% 93/ 239 未受験	100% 134/ 134	100% 695/ 695 未受験	100% 683/ 683 未受験	44% 169/ 382 未受験

大学受験コース(朝倉・旭)

以下の活動を通して、塾長の丸山が直轄管理することにしました。

- ① Vector 課題の設定
- ② 合格へのマイルストーンの作成
- ③ 個人面談 (毎週実施します)
- ④ HR の開催 (最低週 2 回)

直轄管理を可能にする、優秀なスタッフで周りを固めました。



**入試に向け、一人一人の学習計画を策定する、
塾長の丸山雄一郎です(京都大学卒)**

受験は要領であり、難関大と言えども、その大半は「知識の詰込みと一行問題の訓練」です。
特に四国内の医学部までは、処理能力を極限まで鍛え上げればなんとかなります。

既卒性コースでは、成績不振で推薦Ⅱや総合選抜(旧AO)出願の為の権利を持たない生徒さんを、20名以上一般入試で医学部に送り込みました。

2020年入試では、東京大学(理Ⅲ)に、
2022年入試では、高卒認定の生徒さんを高知大学医学部医学科に送り込みました。



**最難関大の指導を主に担当する小林史郎です
(東大寺学園→東京・京都大学卒 東京大学理学博士)**

難関大向の、数学・物理・化学・生物を指導します。
天王予備校で、現役も含めて東大・京大に合格した生徒さんは、全て私の二次添削経験者です。

しっかり考えて、最短距離で最難関大に合格できるよう、導きたいと思っています。



野中浩二(学芸⇒京大卒 英検 1 級)

英語を指導しています。

一人一人の課題を授業を通して把握しながら、英文を読むとはどういうことかを伝授できればと思っています。読むための英文法が身につけていない状態で、どんなに共通テスト演習をやっても、砂をかむような思いをしがちです。まずはこの部分を一緒に固めていきましょう。

帝大系の二次添削も私が担当しています。特に、英作文はきちんとトレーニングしたか否かで、点数が大きく開きます。早い段階からスタートすることを強く勧めます。



梅原千晶(学芸⇒大阪大卒 天王予備校の卒業生です)

後期試験で阪大の薬学部合格した才媛です。

理系科目全般を個別指導します。理系科目は理屈が大切ですが、一定量の暗記も絶対に必要です。やみくもに学習するより、最低限の型を最初に身に付けましょう。どうして数学が出来ないんだろうと思う生徒さんは、まずは Vector で一定量の練習を積むとよいと思います。全てはそれからです。



理系科目について苦手意識を持つ生徒さんの個別指導を担当する岩川直樹 (東京の大手塾からの転職者です)

数学・物理・化学・生物・地学、どの科目も教えることができます(英語も共通テスト程度であれば指導可能です)。

Vectorの開発要員でもあります。私の個別指導と合わせて、Vector 課題を一定量こなすことを強く勧めます。受験は「アウトプット型の学習(問題を解く)と広い範囲をたくさん繰り返すこと」で、ほとんどすべての問題は解決します。頑張りましょう。



数学担当の金堂達也

数学を、出来るだけ懇切丁寧にわかりやすく指導します。共通テストで足を引っ張りがちな数学ですが、進学校の生徒さんはきちんと訓練すれば、今年共通テストレベルであれば、140点以上を安定して取ることが出来るようになります。

※ 140点以上は、上位3分の1の得点です。

0からスタートする気持ちで、一緒に頑張りましょう。特にVector課題の数学は、繰り返せば繰り返すほど漢方薬のように効果が表れてきます。共通テスト演習で成果を上げたいのであれば、10回以上繰り返して下さい。



中山翔(学芸→高知大学医学部)

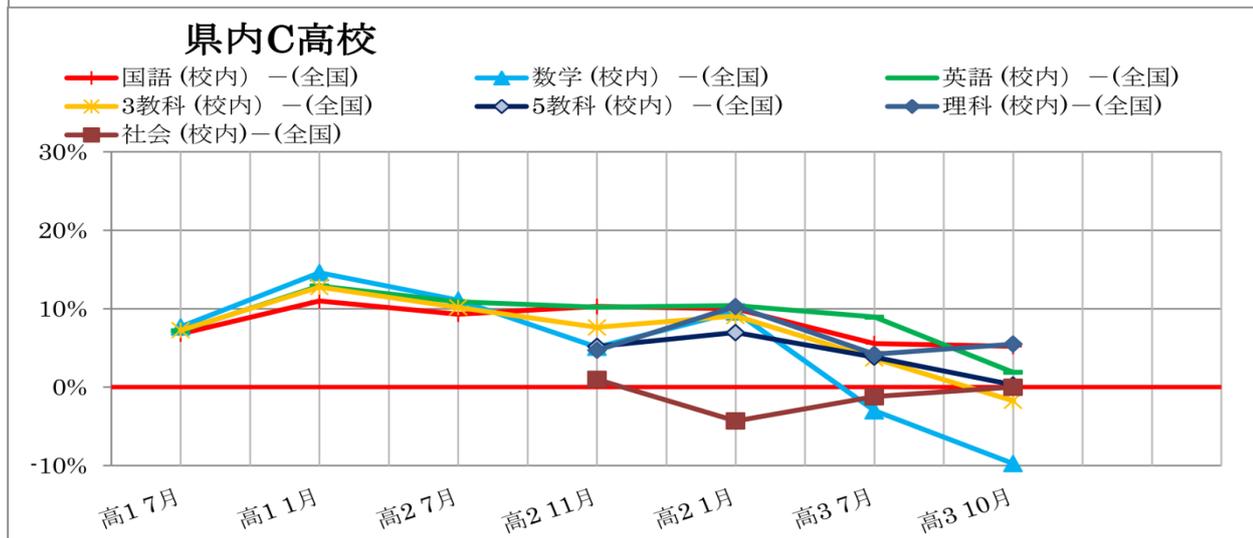
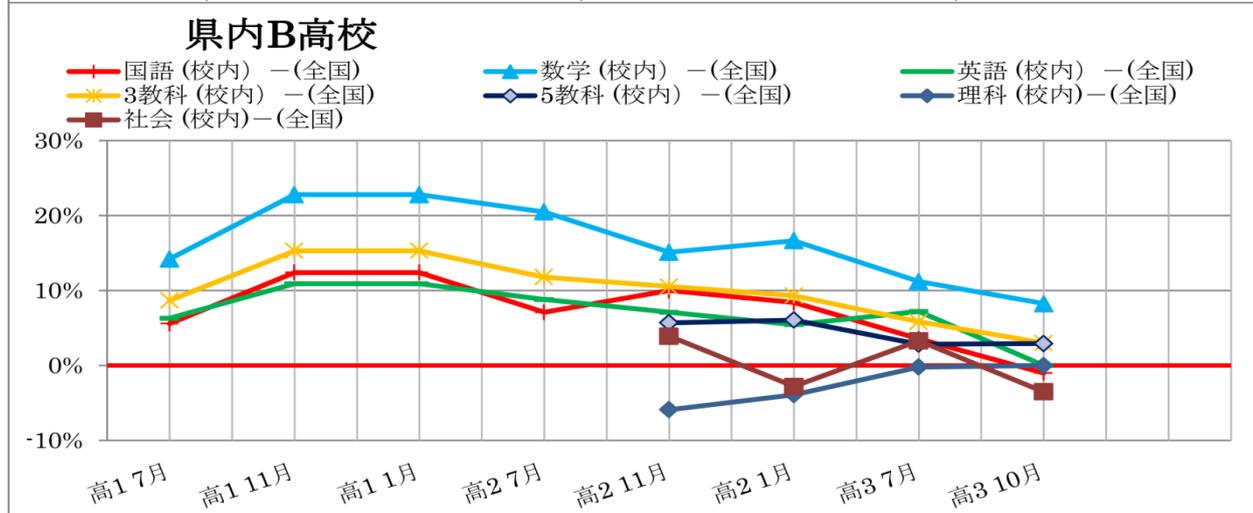
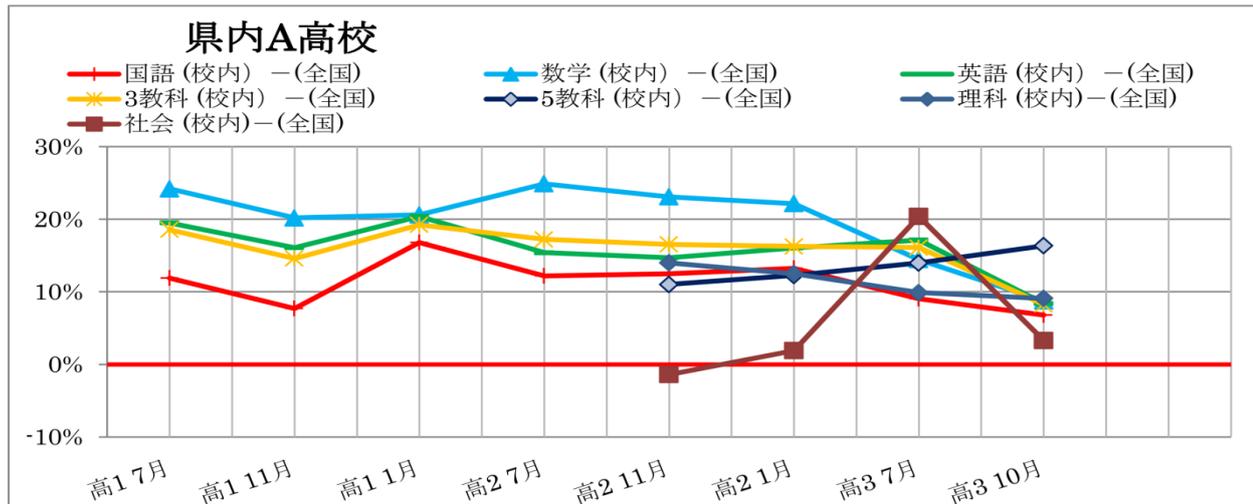
天王予備校の卒業生です

高2の時から、1年間の浪人生活を天王予備校で過ごしました。浪人生時代、塾長から物理や化学の個別指導をしてもらい、基本の大切さに目覚め、一気に成績が上がり、念願の医学部に合格できました。

学校の成績が上位だと、ついつい基本を軽視しがちですが、基本の徹底をおろそかにしていると、模擬試験の成績が伸び悩みます。

塾長がいつもHRで皆さんに伝えている、基本の大切さを私も自らの言葉で伝えていきたいと思っています。

ベネッセ記述模試における、全国平均点と学校平均点について



全国で使用される Vector

人手不足が日本経済を覆い、採用難が続いています。

また、大学全入時代を迎え、生徒の2極分化がますます際立ってきています。

大学生のアルバイトスタッフの学力も、私が塾を始めた20年前とは様変わり、中学生を担当させるのも躊躇するような学生が散見されるようになってきました。

そんな状況のもと、2017年に学習管理ソフトVectorの開発を決意しました。

大量の事務スタッフを動員し10万問の問題を作成しました。

最初システムは外注しましたが、開発能力はそれほど高くなかったため、自社開発に方針転換し開発を進めました。

2020年にコロナで休業を余儀なくされたときに、自塾生に使用してもらうようにしました。

2021年には、天王予備校の生徒さんの解答総数は400万問を突破しました。

2022年には、他塾への外販を開始しました。

以下は、Vectorを導入してくれている塾の先生や生徒さんの声を掲載しています。

6年前は影も形もなかったVector。

6年たった現在は天王予備校だけでなくいろいろな塾で使われ始めています。

全ては夢から始まると、私は思います。

 <p>熊澤文人</p>	 <p>羽毛田 潤</p>
<p>学芸塾</p> <p>◎概要</p> <p>創業年：1956年</p> <p>所在地・教室数：1</p> <p>対象生徒数：小4～中3 45名</p> <p>HP：http://wwwb.pikara.ne.jp/cosmoon/</p> <p>◎理念</p> <p>一、勉強嫌いの子供をつくらず、将来伸びる子供を育てます。</p> <p>一、人に言われてやらされるのではなく、自分から自主的に行動できる人間に育てます。</p> <p>一、言い訳しない、うそをつかない、他人に迷惑をかけない、昔から受け継がれてきた日本人の美しい心を持った人間に育てます。</p>	<p>学朋舎 Let's 多摩センター校</p> <p>◎概要</p> <p>創業 2010年創業（多摩センター校）</p> <p>所在地 東京都多摩市落合1-39-1</p> <p>小学生85名</p> <p>HP http://www.lets-jr.com</p> <p>◎理念</p> <p>中学受験を楽しい思い出にしよう。</p> <p>子供たちの気持ち・学習に寄り添うことによって、「思い出に残る中学受験」を目指しています。</p> <p>「多摩センターの中学受験は日能研かLet's」と認識してもらえるように、日々楽しく頑張っています。</p>



菅 信博
(かん のぶひろ)



乃万塾

◎概要

創業 1985 年創業
所在地 愛媛県今治市
★塾 2 教室 小 1～高 3 高校受験に強い
★英会話教室 2 教室 年少～中 3
★ピアノ教室 年少～∞ 計 5 教室
HP <http://www.nomaplus.com/>

Instagram QR コード

◎理念

『生徒の欲に一任する。』



トライメイト進学舎

◎概要

創業 1989 年 4 月
所在地 滋賀県長浜市 教室数 1
対象生徒 年少～高 3 生徒数約 200 名

◎理念

長浜市の地域おこし、人材育成を目的に、地元の民間企業が河合塾の助力を得て設立した学習塾。今日までに 5,000 人超が卒業。集合授業コースと個別指導コースがあります。支店展開はせず 1ヶ所に資本を集約し、地元の生徒が学習しやすい環境を提供しています。



大江 健二



梶田 裕之

大江塾

◎概要

創業 1983 年創業
所在地 広島県広島市中区・西区 計 5 教室
小学生 100 名 中学生 130 名
高校生 30 名 既卒生 2 名 計 262 名
HP <https://wp8.ocejuku.com/>

◎理念

『地域の皆様に教育のサポートという形で貢献したい』という想いで塾を運営しています。
「勉強を教える」ことだけで終わらず、「人」としての教師が関わることで勉強に対する意識を高めたり、試験に対する取り組み方や、志望校に向けた計画的な習慣付けのアドバイスといった『自ら実行する力』を養えるように生徒をフォローします。

萌昇ゼミ

◎概要

創業 2001 年創業
所在地 岡山県岡山市南区福富西 1-4-5 計 31 教室
小学生 168 名 中学生 445 名
高校生 160 名 計 773 名
HP <https://hosho-juku.com/>

◎理念

萌昇ゼミは、教育を通じて、あらゆる地域で頑張る子どもたちの夢を全力で応援します。1 クラス 4 名の指導を通じて、1 人 1 人に寄り添った学習支援を行っています。未来ある子どもたちの選択肢が増えるように、講師は仕事に誇りを持ち、失敗を恐れず、新たなことにチャレンジしています。



二反田 和弥



芳賀 麻里子
(はがまりこ)

北辰塾

◎概要

創業 2009年創業

所在地 鹿児島県霧島市国分山下町 21-30

中学生 15名 高校生 15名

HP <https://www.hokushinjuryku.com/>

◎理念

わかる、解ける喜びは格別です。
この喜びは勉強することでしか味わえません。
塾生にこの喜びを体感してほしい。
そして、もっと勉強することが楽しくなるように
日々の授業に全力で取り組んでいます。

花丘塾

◎概要

創業 1985年 創業

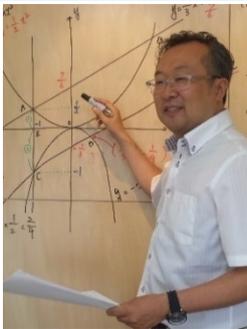
所在地 長崎県長崎市花丘町 5-22 1教室

幼児から高校生まで

HP <https://www.hanaokajuku.com>

◎理念

まわりは大手塾ばかりのエリアで個人塾を営んでいます。指導形態は個別指導・自立学習指導。
小人数ゆえの生徒一人ひとりに手厚く寄り添う指導で学習成果を上げています。



久保 岳也



澤井 良晴

はなまるゼミナール

◎概要

創業 2011年創業

所在地 奈良県生駒市俵口町 7 2 2-2

小学生 12名、中学生 20名、高校生 14名

HP <http://www.hanamarus.com>

◎理念

「学力を生きる力に」をキーワードに、勉強ができるだけではなく、学んだこと、経験などを活かし、社会でたくましく生きていける子どもたちになってもらいたいと思っています。

澤井塾

◎概要

創業 2019年創業

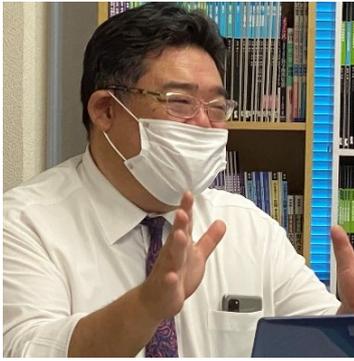
所在地 広島県広島市南区段原南 2 丁目

1-15 沢村ビル 202号

小学校～高校生 70名程度

◎理念

私の仕事は、生徒の皆さんに、勉強する環境や理解する準備を整えてあげることだと思っています。そこから先は生徒自身が考え、判断し、自分の力で成長できるようになってもらうことを目指しています。



一木 康広

株式会社 北斗塾

◎概要

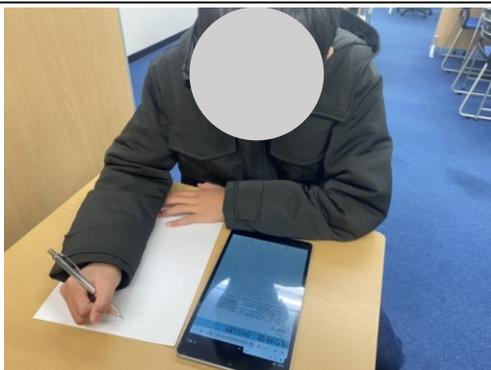
平成 5 年 3 月北斗秀明館, 北斗塾へ改名,
平成 22 年 10 月株式会社 北斗塾 設立
宮崎県宮崎市旭 2-1-25
計 5 教室+オンライン
HP <https://www.hokutojuku.co.jp>

◎理念

わが子に合った唯一無二の成功ストーリーを描き、もっとも学習しやすい方法で上手くいくやり方を見つけます。「本物の基礎学力、これこそすべての源」とし、盤石な基礎学力を構築することで、万事を解決でき、自信をもって新時代を生きていける人・リーダーを育成します。

<p>提携塾</p>	<p>ICUBE 野崎ゼミ(鹿児島) アクロス個別指導学院赤羽本校(東京) 大江塾(広島) 学朋舎レッツ多摩センター校舎(東京) 鴻志学舎プライベートスクール(東京) 高知学芸塾(高知) 澤井塾(広島) トライメイト進学舎(滋賀) 乃万塾 PLUS(愛媛) 花丘塾(長崎) はなまるゼミナール(奈良) ファーストアカデミー(石川) 北辰塾(鹿児島) 北斗塾(宮崎) 萌昇ゼミ(岡山) 三鷹個別学習会(東京)</p>
<p>体験中の塾</p>	<p>五十嵐塾(奈良県) 学習塾プログレス(三重県) 黒田学習塾(茨城県) 算数・数学専門塾(鳥取県) 時習学館(東京) ふたな塾(愛媛県) マップ教育センター(東京)</p>

萌昇ゼミ様(岡山県) 生徒・スタッフの声



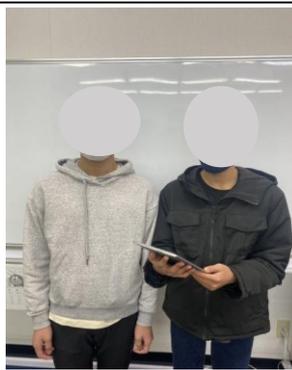
■さん ■ 2年

◎本人コメント

最初は使い方が分からなかったのですが、使い方に慣れるとサクサクできるようになりました。どんどん進めたいです。

◎スタッフコメント

教室のタブレットを使ってコツコツ進められています。初めて英語の試験で80点超えを達成しました。次は90点超えを目指して、Vector 単語や文法の学習に取り組みましょう。



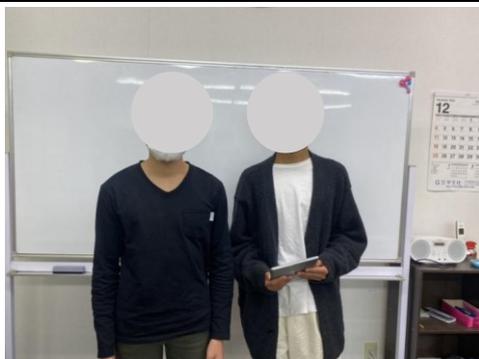
■さん(左) ■ 2年

◎本人コメント

Vector を初めて間がないですが、楽しく学習できています。周りの人たちに負けないようにどんどん進めようと思います。

◎スタッフコメント

Vector は最初が肝心です。習慣づけることの重要性を体感してください。周りの友達よりも Vector にたくさん触れて、次のテストでは自己ベストを目指してください。



■さん(左)・■一さん(右)
■ 2年

◎本人コメント

Vector は使っていると楽しいです。どんどん進められます。景品の図書カード目指して頑張っています。

◎スタッフコメント

2名は上道教室の Vector マスターです。解いた問題数が上位の2名です。空き時間で Vector に取り組んでいます。周りの塾生たちに良い影響を与えています。



森上 雄 萌昇ゼミ エリアマネージャー

◎本人コメント

Vector 導入から間がないですが、懸命に取り組んでくれる生徒たちに恵まれてやりがいを感じています。1人でも多くの塾生たちが Vector の良さを知ってもらえるように、習慣づけて取り組むことのできる環境づくりに取り組んでいきます。進捗状況を他の講師と共有し、講師陣でチームを作って頑張ります！

大江塾様(広島県) 生徒・スタッフの声



さん 小学校5年

◎本人コメント

vectorを頑張って仕上げました。アタックテストで1位が取れたのでうれしかったし、自信もつきました。これからも頑張ります。

◎スタッフコメント

中学受験コースでがんばっている小山くんですが、まじめな性格で課題が済んでももっと課題を欲しいということで、課題を追加したほどです。今後も毎日継続してほしいです。



さん 小学校5年

◎本人コメント

vectorを始めて、達成するのが楽しくなり、どんどんやるようになりました。特に英語は、解きやすくて集中したので1日で終わりました。

◎スタッフコメント

普段から真面目にコツコツ頑張る努力家の柳井君。vectorの導入後もすぐに取り組んでくれました。1日20分以上を毎日やることを習慣化することで、さらに実力アップを期待しています。



さん 小学校5年

◎本人コメント

vectorではだれよりも早く100%いこうと思えました。まず得意なところからはじめて100%を達成できました。12月も頑張ろうと思えました。

◎スタッフコメント

持ち前の集中力を発揮して短期間で100%達成してくれました。引き続き「繰り返し学習」をしていくことで成績も目に見えて上がってくるはずですね。支えてくださったご家族に感謝！

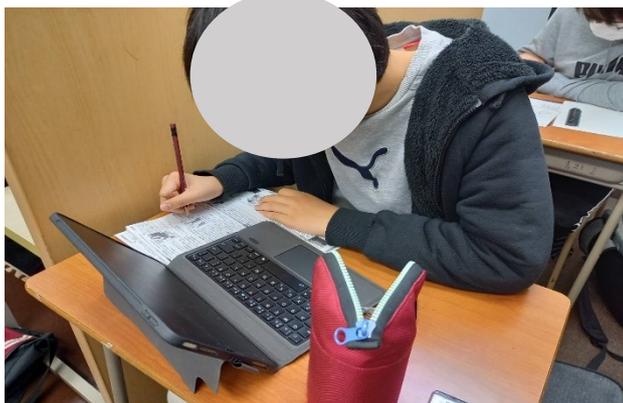


大江健二 大江塾 役職 塾長

◎本人コメント

夏期よりvectorを導入させていただきました。生徒の自宅学習というテーマは非常に大事なことです。が、なかなかこちらからフォローすることは難しかったのですが、vectorでは容易に進行状況が確認できるので、生徒のアプローチしやすくなりました。まだまだ平均の達成率は高くないですが、声掛けと補習に呼ぶことで徐々に「vectorはやるもの」という意識がついてきた生徒が増えてきました。

乃万様(愛媛県) 生徒・スタッフの声



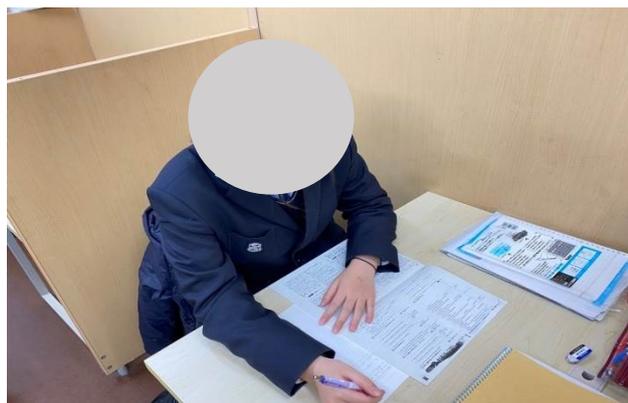
さん 中学校1年生

◎本人コメント

中間期末テスト前の対策に使っています。社会や理科が不得意だったのですが、**高得点**をとることができました。(^-_-)

◎スタッフコメント

どんどん順位が上がっていくのを実感し、本人の意欲もアップしていますね。何度も解いて自信をつけていってくださいね。
志望校へ一直線!



さん 高校1年

◎本人コメント

物理基礎に苦戦していました。中間テストでは**Vector**と同じような問題が出たので助かりました。毎日コツコツやっていきたいです。

◎スタッフコメント

文理選択で「理系」を選んだKさん。苦手を克服するために日々頑張っています。制限時間があると焦ってしまいがちですが、それも練習だと思って頑張ってくださいね!

成績優秀者		
愛媛県	今治西中3	468点
愛媛県	今治西中2	453点 <small>※塾から移行者</small>
愛媛県	今治西中1	460点
愛媛県	今治日吉中3	465点
愛媛県	今治南中3年	461点
愛媛県	今治北郷中2年	459点
点数UP【対入塾時との比較】		
愛媛県	日吉中3年	187点UP <small>(自己ベスト)</small>
愛媛県	今治西中3	165点UP
愛媛県	今治西中2	162点UP <small>※塾から移行者</small>
愛媛県	今治西中1	152点UP
愛媛県	今治日吉中3	155点UP <small>※塾から移行者</small>
愛媛県	今治南中3年	153点UP <small>※塾から移行者</small>
愛媛県	今治南中2年	135点UP <small>(自己ベスト)</small>
愛媛県	今治桜井中3年	146点UP
愛媛県	今治北郷中2年	145点UP
愛媛県	今治北郷中3年	140点UP <small>(自己ベスト)</small>

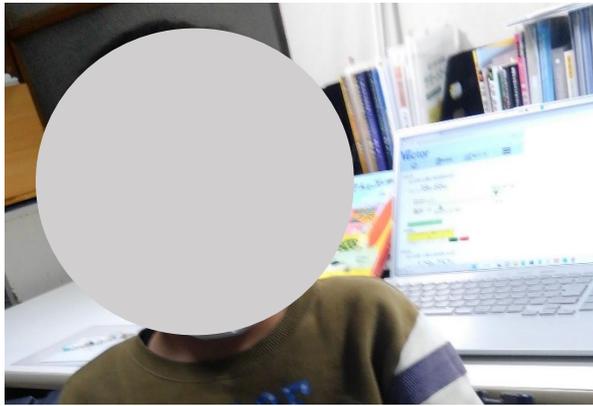


菅 信博 乃万塾 PLUS 塾長

子供達が自分のペースでしっかり取り組み、少しずつ点数が上がっています。学校で学習し終えた単元の反復や復習に使えるので助かっています。
Vector を生徒たちに定着させるには時間がかかりそうですが、導入に向けてスタッフ一同頑張っている最中です。

花丘塾様(長崎県) 生徒・スタッフの声





さん 小学校 4 年

◎本人コメント

ぼくは vector でことわざをしています。ことわざはあまり知らなかったけど、知っていることわざが増えてうれしいです。これからもことわざをたくさん勉強したいです。

◎スタッフコメント

今の子供たちはことわざをあまり知りません。Vector を活用して先人の知恵に学び、もっともっと語彙を増やしましょう。



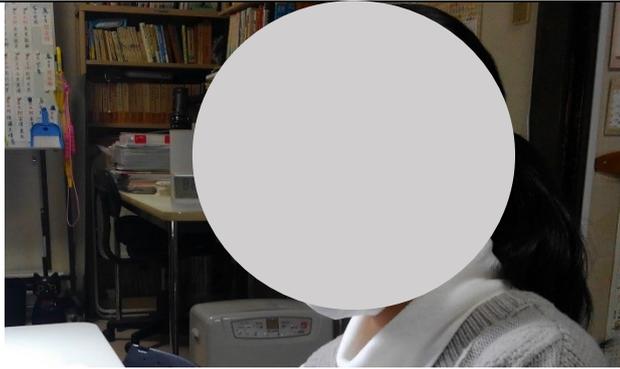
さん 中学校 2 年

◎本人コメント

覚えるのが苦手だった英単語も vector で復習するようになってからは、たくさん覚えられるようになりました。期末テストでは英語の点数が上がると嬉しいです。

◎スタッフコメント

中学生の英語の教科書は単語の数がものすごく増えました。Vector で繰り返し練習して、完全にマスターしてくださいね。



さん 高校 2 年

◎本人コメント

教科書にはないような数学の問題が vector にはたくさんあるので、色々なパターンの問題を解くことができました。何度も解いて解き方を定着させたいです。

◎スタッフコメント

悠歌さんは本当によく勉強しています。教科書や問題集の問題以外にもたくさん挑戦して力をつけてほしいです。vector は問題数が豊富です。大いに活用しましょう。



芳賀麻里子さん 花丘塾主宰

宿題はもともと紙ベースで出題していて、その量は今も変えていません。vector から多くは出していませんが、生徒たちは vector の分だけ宿題の量が増えたことになります。それでもやってくれるのは vector が取り組みやすいからだろうと思います。進捗状況を確認したり、声かけをしたりすることで、子供たちとの一体感をより感じることができるようになり、学習量が増えたことに加え、そのことも大きな収穫でした。Vector についてもっと知ることができるよう、私自身努めたいと思います。

大内 賢治さん

香川大学 医学部での思い出

大学時代の思い出は典型的な感じですが部活、バイト、勉強、実習など色々あります。

部活はサッカーをされていて、バイトは家庭教師からレストランのウェイターなど、勉強と実習はそれなりに大変でした。

医大の部活って案外、真剣に活動していて、「どうせ医大の部活なんてサークル的な感じでしょ」と思ってた自分には意外でした。高校の部活とは違って、練習や試合のスケジュール学生で決めたり、主体的に活動して楽しかったです。テスト大変だねーとか言いながら練習するのも今思えばいい思い出です。どこまで勉強したなど進捗具合をお互い確認できるのも部活仲間のいいところでした。

学生時代に縦横のつながりができる環境に身を置くのもいいと思います。

バイトも色々経験しました。家庭教師は自分の受験の経験が活かせる場で比較的時間に融通が効くので部活している自分にはちょうど良かったです。教え子が受験に合格したり、テストでいい点取ったりしてくれると嬉しく、同時に親御さんにも感謝されたりやり甲斐もありました。レストランのウェイターでは接客を経験できて言葉遣いの勉強にもなりましたし、何と云ってもまかないが美味しくて一人暮らしの自分にご飯作る手間も省けて助かりました。その時のバイト仲間とは今でも連絡取り合う仲の人もいて、バイト繋がりで友だちができるのは家庭教師とは違う良さだと思います。

勉強は今は低学年から基礎医学が始まると思います。基礎って勉強しているときは重要さが分かりにくくてその場のやっつけで終わって、高学年になってからこんなのあったなーって感じで困ることはありましたけど、周囲も同じ様な感じで…。

取り敢えず目の前のことをやっていくのが精一杯でした。実習は5人1組のグループで一年間ローテートして、色々な科を回りますが、科によって忙しさはマチマチで外科なんかで朝早い時はグループ内で朝起こしあったりして乗り切りました。クール毎に飲み会したりと気持ちを切り替えながらやってました。

国試は一年位前から準備を始めて、本気で頑張り出したのは半年前くらいからでした。自分は朝起きるのが苦手だったので、勉強時間は確保できるように学校に行っておルマ達成するまでは帰られないなどルールを決めてやってました。国試も周囲と遅れをとっていないか、どの模試受けるか、何科の勉強しているかなど進捗を確認しながら気がいたら国試が終わっている様な忙しさだったと思います。

国試は大学受験と違って、みんなで同じ試験を受けて合格するのが目標になるので大学受験より一体感がありました。

学生時代にしか経験できないものもあると今では感じるため

皆さんには色々なことにチャレンジして欲しいと思います。

今の仕事のやりがいや苦労など



医師としてやりがいは語りきれないほど感じています。

入院患者さんが元気になって退院していくこと、意識がない患者さんが回復し意思疎通が取れる様になった時や原因不明の熱が続いていた患者さんの診断がついた時など日々やり甲斐を感じますし、頭を悩ませることは同じくらいあります。

一般的に大学を卒業して臨床研修指定病院で2年間初期研修があり、その後自分の専攻したい科を選択します。

自分は大学を卒業して香川の市中病院で初期研修しました。その病院は130床ほどで臨床病院にしては小さい病院で初期研修医も自分1人というなかなか異例な環境でした。

やはり小さい病院は提供できる医療に限りがあるので、自身が経験できる治療も研修病院の大きさで決まると感じます。ただ一概に小さな病院が研修に向いていない訳ではないと初期研修2年間を通して感じました。

みなさんも実際に働き始めたら感じると思いますが、病院にはそれぞれ役割があり、自分が研修していた病院は地域のハブ病院の役割でした。(ハブ病院という言葉が正しいか分かりませんが、自分の解釈では専門的な治療が必要であれば大きな病院に紹介し、安定していれば地域のクリニックなどに紹介する役割と認識しています。サッカーで言えばボランチのようなパスナーの役割でしょうか)そういった地域の病院は外来診療を大いに学ぶ機会があり、入院患者さんはcommonな疾患の方が多く、研修する上では申し分ない経験ができました。また小さい病院ならではのスタッフ同士の距離が近く、他職種との相談も気軽にできるといった環境もよかったです。

まとめると初期研修はどこでするかではなく、自分がその環境で何を学ぶかが重要かと感じました。

現在、3年目になり、内科の専門医、ゆくゆくは循環器の専門医を取るため大阪の心臓カテーテル検査を学べる病院に場所を移して勉強しているところです。

スキルアップしていくためには環境を変えながら、自分に足りないものを学んでいく必要があります。今は環境の変化に最も苦労しています。大変な時はその分自分が成長しているのだと思うようにして、日々のストレスと闘っているところです。

受験という大きなストレスがあり、皆さんも日々頑張っていると思います。

日々の努力の中で自分の成長を感じることも一つのスキルだと思うので、

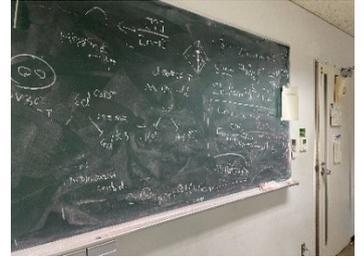
どんな小さなことでも自分がその日できたこと、

できるようになったことに目を向けて頑張ってください。



島田 了輔さん

東京大学数理科学研究科



✓ 自己紹介

私は現在、東京大学数理科学研究科の博士課程に在籍しており、学術振興会の特別研究員(DC1)も兼任しています。

数学が専門なわけですが、その中でも数論幾何学と呼ばれる分野で研究しています。

天王予備校には高三の時からお世話になり、その際には数学の添削もしてもらいました。

このように数学といういわゆる理系の勉強・研究をしてきた私ですが、実は大学は文系で受験しています。今回はそこからどのようにして理転したのかというお話を書かせて頂きたいと思います。

✓ 理転するまでの経緯

私は高校一年生の時から数学者になりたいと考えていました。

同時に、経済的な事情により大学では給付型の奨学金をもらいたいと考えていました。

しかし、当時は今よりもずっと給付型の奨学金が少なく、私が見つけれられたのは文系限定のものだけでした。

数学か奨学金のどちらかを諦めるしかないと思っていた矢先、東大には進学選択という制度があり、それをうまく使えば文系で入学しても理学部に進学できることを知りました。

これしかないと思った私は、大学受験までは文系で入学後に理系になるという進路を選択しました。

✓ 進学選択について

こうした事情により文系で東大に入学したわけですが、そこから大変でした。

進学選択は2年生の夏に行われ、その時点までの成績によって希望の学部学科に進学できるかが決まります。

進学先の希望は基本自由に出せるのですが(入学時の科類による優遇枠があったりするので、科類ごとにそこへ進学するための難易度は異なります)、一部の学科は「要求科目」と呼ばれる必修科目を設けています。

これはその学科への進学希望を出すために単位取得しなければならない科目のことで、例えば数学科は東大理系の必修科目のうち実験以外のほぼ全てが要求科目だったと思います。

数学科としては最低限の予備知識のない文系の学生に来られても困るので、要求科目を設定しているわけです(逆に理系の学生が文系の学科へ進学する際に要求科目が必要なことはほとんどありません)。

この要求科目はそれなりに高いハードルで、実際進路担当の先生には文系から数学科へ進学した学生は私が初めてだと言われました。

私は高校の時、数学の理系範囲は勉強しましたが理科の理系範囲は勉強していなかったので、物理や化学の要求科目で苦労しました。

とはいえ、最近では文系から数学科や物理学科へ進学する学生もちらほらいるようで、私としては嬉しい限りです。

近況

数学科を卒業後はそのまま大学院への進学を目指しました。

数理科学研究科の入学試験は難関で、内部生でも半分落ちると言われていますからしっかり試験対策をした覚えがあります。

その結果無事合格し、今に至ります。

大学院入学後は研究テーマにも恵まれ、修士課程修了時には数理科学研究科長賞を頂きました。

さらには修了生代表として学位記授与式にも出させてもらいました。

こうした結果は周囲の支えがあってこそのもですが、
特に私の数学の原点である高校時代を支えて頂いた
天王予備校の皆様には大変感謝しております。

そしてこれを読んだ皆様も
希望の進路を実現できるよう
陰ながら応援しています。



吉川 勝太さん

一ツ橋大学商学部の生活について

天王予備校旭教室 OB の吉川です。私は一橋大学商学部に通っております。
今回は大学生活と高校までの学生生活との違いについて 2 つお話します。

まず一つは、「**自分が本心から興味のあることを学べる**」ということです。
高校までの学習では英数国理社を幅広く理解することが求められます。その中には、あまり勉強するのが好きではないけどテストのために勉強しなければならない科目もあるでしょう。

しかし、大学の勉強では自分が興味のある好きなことを学べます。私は、**ビジネスマンとして生きていきたいと高校生の頃に思っていたので「商学部」を選びました。**

例えばその他にも、世の中の大きなお金の動きを学びたいなら「**経済学部**」が良いし、「将来、経営者になりたい」「会社の経営に携わりたい」なら「**経営学部**」がおすすめです。
本を読むのが好きなら「**文学部**」もいいし、スポーツが好きなら「**スポーツ科学部**」という学部も他の大学にはあります。
このように「自分が好きな分野の学部を選んで深く専門的に学ぶことができる」というのが大学生活の一つの魅力です。

もう一つは、「**時間の使い方が自由になる**」ということです。

高校までは決められた時間に登校し、終業後は部活動に行き帰宅するという生活を送る学生が多いのではないかと思います。一方で大学生活は、授業を自由に選択できるので授業が始まる時間や終わる時間は人によって様々に異なります。

さらに大学生になると「サークル」「部活」「バイト」「留学」「学生起業」「インターン(学生が興味のある企業などで実際に働く職業体験)」など、高校生の頃とは違って選択肢の数が増えます。そのため、高校のころとは違って毎日のスケジュールを自由にデザインできるのが大学生活の良いところです。

もちろん、時間の使い方が自由すぎるあまりにダラダラと大学生活を過ごしてしまう学生もいます。しかし、自分が挑戦してみたいことがある学生にとっては、**大学生活は高校までとは違った体験を得られる有意義な時間**になるでしょう。

私は大学 4 年間の中で、「学生起業」に多くの時間を割きましたが、「自分が作ったサービスを受け入れてもらえるにはどうしたらいいのか？」に苦心しつつ、高校までとは違った刺激ある経験ができました。

数えきれないほど多くの先輩方にお世話になったし、起業に挑戦することで始めて分かった学びもありました。

濃い時間だったと思うし、大学 4 年間は私にとって大きな財産です。

最後にまとめると、大学生活は「自分が興味あることに突き進める場所」だということです。

学ぶ分野は自分が選択できるし、授業以外の時間に何をするのか？も自分で選べます。

人生の中で最も自由な最高の時間を過ごせるのが大学生です。

「その自由な時間を自分ならどう使うだろうか？」ということ胸にときめかせながら、頑張ってください。

応援しています！

一橋大学 紹介



谷口公太郎さん

岡山大学医学部について



こんにちは。岡山大学医学部医学科3年生の谷口公太郎と申します。浪人時代天王予備校にお世話になっておりました御縁から、今回卒業生レポートを書かせて頂くこととなりました。何卒宜しくお願い致します。

まずは私が通っております、岡山大学について簡単に紹介させていただきます。岡山大学の魅力は何といても立地の良さです。一般学部がある津島キャンパス、医療系学部の鹿田キャンパス共に岡山駅から自転車20分圏内に位置しており、岡山駅周辺は多くの商業施設で賑わっているため、車を運転出来なくても十分大学生活を楽しむことができます。

また、南風を使えば高知駅から乗り換え無しで来れるため、万が一寝落ちしてしまっても大丈夫。約2時間半ボーっとしてたらあっという間に終点の岡山駅です。岡山駅からは新幹線も通っているため、大都市圏に簡単にアクセスすることができます。立地の良さやアクセスの良さというのも、この岡山という街の大きな魅力の一つです（今はコロナで中々外出は難しいですが...）。

次は大学での勉強について簡単に触れさせていただきます。大学生活において今私から皆さんにアドバイスとするならば、“受験が終わっても英語はしっかりやっておきましょう”。大学・学部によって授業形式や授業内容は大きく異なってきますが、どの学部学科に進学したとしても、英語をやっておいて損はないと思います。実際私は大学入学後殆ど英語に触れて来なかったので、今論文を読む際にめちゃくちゃ苦労しています。語学系の学部はもちろん、その他の文系学部・理系学部に進学する場合でも、英語は入学後も継続して学習し続けることをお勧めします。

最後に医学部について簡単に紹介させていただきます。医学部医学科は6年制で、1、2年生は他学部と合同の一般教養の講義と平行しつつ、基礎医学（生化学や生理学、解剖学、組織学など）を学習します。3年生の前半は、基礎医学でも臨床寄りの分野（病理学や薬理学、細菌学やウイルス学など）を学習します。3年生の後半から4年生にかけては、いよいよ臨床医学を学習していき、そして4年生の秋から冬にかけて CBT、OSCE と呼ばれる試験を受け、合格者は5年生から6年生にかけての臨床実習に進んでいきます。

割と忙しい学部とイメージされがちですが、試験期間でなければ自分の好きなことをする時間も持てますし、アルバイトをする余裕もあるかと思います。実際私も研究室配属（岡山大学では3年生の中盤で3か月間ほど研究室配属が行われ、それぞれ研究活動に携わる期間があります）終了後も、放課後の時間を見つけ、引き続き実験を継続させて頂いています。どの学部に進んだとしても、上手く時間を使えば充実した学生生活を送れるのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症で先を見通しづらい状況ではありますが、皆さんが充実した学生生活を送れますことを陰ながらお祈りしております。長文にもかかわらず最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。



川野 香さん

岡山大学 医学部での思い出～現在



✓大学の思い出

私は再受験での入学なので、しばらくはとても暇でした。

教養科目の単位が認定されていたため授業もほとんどなく、部活動やアルバイトに明け暮れました。

専門的な授業が始まってからは、友人たちと一緒に勉強をしました。

医学科はチームプレーが必要だと思います。

私が在籍していた岡山大学は学生教育にもかなり力を入れており、「どうしたら学生の希望、不満を汲み取れるか」「より良い環境を作ることができるか」を常に考えてくれていました。

学生側の意見を汲み取る学生教育委員会の初代代表も務めさせていただきましたが、教授や教育長、そのほか先生方とのミーティングは、大学側がどの様にカリキュラムを組み立てていくのか、他大学と意見交換を行っているのかなど裏の流れを知ることができました。

本当にいい経験をさせていただけたと今でも感謝しています。

大学生活はかなり昔のことになるので、詳細をあまり覚えていないのですが(笑)、大学のおすすめポイントとしては、岡山大学医学部構内にはコーヒーショップが3つもあるよ(スターバックスコーヒー、上島珈琲、ONSAAYA コーヒー:岡山のコーヒーチェーン)、臨床実習はかなり充実しているよ、といったところでしょうか。

あと、「大学の先生って怖い」印象がありましたが、かなり気さくで優しい、面白い先生方が多かったです。そして医学部は本当に世界が狭くなりやすいので、入学したら**色んなことを学び、色んなことに挑戦してほしい**と思います。

入学してから出会う人はほとんどが医療関係者。

それは勤務し出してからも変わりません。でも患者さんはそうではありません。

だからこそ、視野を広く持って過ごしてほしいなと思います。

✓現在

「一緒に働きたいと思えるような人たちがいるところを選べ、最後は雰囲気だよ」

進路に迷っていた時に、非常にお世話になった学生指導の先生に言われた言葉です。

医療は日進月歩、「これをしたい！」と今思っている治療が、自分が一人前になる頃には時代遅れになっていることもある、と。

私はそれで、医局の雰囲気明るく実習も楽しかった泌尿器科を選びました。

泌尿器科は副腎・腎臓から尿道まで幅広く診る科であり、感染症から悪性腫瘍まで疾患も多く、また内科治療から外科治療まで自分たちで完結できる総合診療科でもあります。それも決め手でした。

そして今まさにここ尾道で、その先生と一緒に働いています。

色々と守られていた研修医時代と比べ、毎日が闘いです

「研修医は医師ではない」と先述の先生に大学で何度も言われましたが、今ではその意味が理解できるような気がします。

自分の診察、診断、治療が全て結果として返ってくることにやりがいを感じる反面、恐怖を感じてしまいます。

しかも入院患者さんのこともしながら同時に外来も診て、救急搬送されてきた人に泌尿器関連の問題があれば呼ばれて対応する。

予約の患者さんの待ち時間が2時間近くになることもしょっちゅうです。

週一回の外勤の時は、その日、その病院内に泌尿器科医は私しかいないので「まだ経験が浅くて…」なんてことは通用しません。

さらに泌尿器科は朝が早いです。

毎朝6時半には家を出て病棟を回診して状況を把握。7時45分からカンファレンス、その後手術や外来などが始まります。当直がある日は36時間以上病院で過ごします。

当院はマンパワーが不足しているため、全科当直(外科系の泌尿器科が内科の救急対応もする)となることもありますし、血管外科の手術の助手に駆り出されることも。

夜中に外科の緊急手術が入ると当直代行に呼ばれることもあります。

月の1/3は何かあったときに対応する待機となるので外出もままなりません。

最初は逃げ出したくなることもありましたが、それでもこうして頑張っているのは、一緒に働く当科医師や病院スタッフに恵まれ、そして何よりも「医師になりたい」という強い思いがあったからだと思います。

加えてこの地域の患者さんは、待ち時間が長くても怒らず待っていてくれるので非常に助けられています(笑)。

最近では、「先生お昼食べとらんじゃろ。そこの売店で買ってきてあげようか」と気を遣ってくださることもあります。

この様に医師はとて大変ではありますが、**患者さんが困っている症状が改善したときそれ以上にやりがいを感じられる仕事**でもあります。

そしてかなりの覚悟と体力が必要です。「やりがい」は自分次第でどんな仕事にでも感じられるものです。

もし医学部を目指している方が今この文章を読まれているなら、「どうして医師になりたいのか」「医師になってどういうことがしたいのか」を改めて考えてみてください。

医学部はまず合格が難関ですが、医師になってからの方がずっと大変です。

でもちゃんと目標があって目指すのであれば乗り越えられるはずです。

応援しています。

いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。



杉本 達哉さん

東京大学について

冬:本郷キャンパス総合図書館

夏:駒場東大前駅

春:駒場1号館



現在東京大学に通っている、理科二類の2年生です。ここまでの暮らしの中で、勉強や生活について経験したこと、感じたことを記します。

✓ 生活面

入学時にコロナの影響で全面オンライン授業になったので、上京先からすぐに帰省して1年生の秋まで実家で過ごしました。

秋から対面授業が一部再開されたので、その後は上京して一人暮らしをしています。

東大では2年の後期から所属キャンパスが変わる学生が多く、自分もそうだったのでそれに合わせて引っ越しをしました。通学に時間がかかると混雑した電車の中で負担になるため、30分以内で通える範囲に家を選ぶ人も多い印象です。

東大では、必修の第二外国語の選択によって高校のようにクラスが分かれます。大学での人付き合いは人それぞれですが、自分はクラスの人と仲を深め、現在も何人かと交流は続いています。

サークルで友達ができる人もたくさんいると思います。

コロナ禍でも様々なサークルや部活がオンライン新歓やSNSでの宣伝をされていて、現在は教育系・芸術系・運動系の3つのサークルで活動をしています。部活に力を入れている人もいれば、サークルに入っていない人もいて、課外活動との関わり方は自由度が大きいと思います。

バイトは採点のバイトを時々行っています。周りの東大生はやはり圧倒的に家庭教師や塾講師をしている人が多いです。

1年の前期に帰省していた人が多いこともあり、入学直後でなく生活が落ち着いてから始めたりバイトを変えたりする人も多かったかなと思います。自分は2年になってから始めました。

また、春休みと夏休みが高校の時より1ヶ月長いので良くも悪くも自由です。

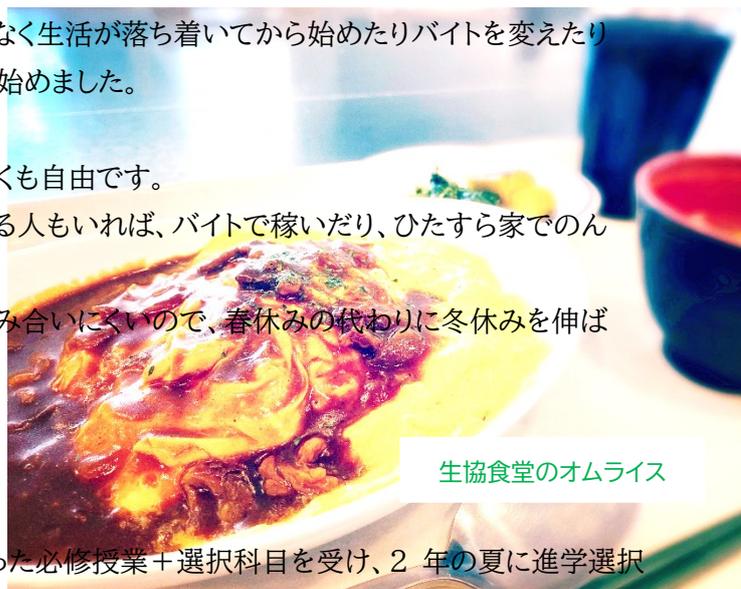
感染状況を考慮しつつ、帰省を選択したり、小規模に旅行する人もいれば、バイトで稼いだり、ひたすら家でのんびりしたり。

冬休みが逆に1週間しかなく、年末年始の帰省や成人式と噛み合いにくいので、春休みの代わりに冬休みを伸ばしてほしい…とったりもします。

✓ 勉強面

入学から2年の前期までは、合格した時の科類ごとに決まった必修授業+選択科目を受け、2年の夏に進学選択(通称進振り)で学科やコースに分かれた後、それぞれの所属先の授業を受けることになります。

進学選択前は「前期教養課程」と言われるだけあって、理科二類では化学、物理、生物、数学、英語、体育、第二外国語など幅広い必修が課されました。



生協食堂のオムライス

大学の理系科目は得意ではなかったので、正直苦勞しました。

ちなみに第二外国語はイタリア語を選びました。選択できる大学が少ないので珍しいかもしれません。他にはロシア語、韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があり、サークルなどで知り合った人から違った言語の話やクラスの雰囲気が聞けるのも面白いです。

進学選択は、1年半の大学生活の中で行きたいと思ったところを目指すこととなりますが、学科ごとに「○科○類からは△人」という定員が決められていて、成績と志望順で決まるので、必ずしも行きたいところに進めるわけではありません。

自分は興味のある学科が高い点数の必要ないところだったので無事行くことができましたが、例えば最近人気の情報系に進みたければ、激戦区なので大学でも良い成績をキープしなければならず、周りを見てすごいなと感じたことがよくあります。

現在は、人や健康に関する様々なアプローチを学んでおり、学科で知り合った友達と学びあえています。

教科書



✓ コロナ禍での生活について

すでにコロナに関して触れていますが、もう少し具体的に触れておきます。

中学や高校でもオンライン化や活動制限があるのかもしれませんが、大学もそういった体制が今も続いています。大学生は個人のPCを持っていてオンラインに対応しやすいからでしょうか(?)。

授業に関しては、1年の秋から週に約一日のペースで対面授業が始まりました。クラスの人と会う機会があるだけで大きく生活が変わりましたが、体感はほとんどオンラインだなという感じでした。新しい学科では週二日くらいの対面授業になり、来年度からまた少しずつ増える予定のようです。学科によっては全部オンラインのところもあったりと様々ですね。

大勢での講義はオンライン継続、実習や実験は対面で、という風潮があるかなと思います。授業以外では、サークルがオンラインになったり運動系がしばらく中断されたり。大学公式のイベント(合宿、サークルオリエンテーション)が中止になったり。ここまでコロナ禍で辛そうな側面を語ってきたんですが、個人的には正直ものすごく困っていると言うほどではありません。サークルの新歓を覗いてみたのをきっかけに繋がりが持てていること、オンラインでも活動が機能していること、(元々会食に飢えていたわけではなかったが)大勢で飲み会は厳しい状況でも、プライベートで楽しめることがたくさんあること。結果的にいろんなことが噛み合って大学生活を送れています。

ただ、通っている大学にクラス制度があったこと、多くの優しい友達に出会えたこと、家族の支えがあったことなど、自分の力ではない恵まれた面もあったからこそだと思っています。なので一概に「コロナだって問題ない」なんて断言はできませんが、その状況下でも「契機を逃さないこと」「途中でつまづいたり出遅れても立て直しはきくこと」「意外と良いこともあるのでは、とポジティブに考えること」を心に留めておけば、できることは見つかると思っています。

そしてこれは大学生活だけでなく、中学生・高校生の方にも通ずることかもしれません。

「あとでなんとかなるから勉強サボっていいや」というのは良くなって、あくまでいざ逆境に立った時に考えてほしいことではありますが、受験勉強で精神が弱らないよう強く持つ工夫を自分なりに持ってほしいと考えています。

自分自身、中高生と同じく授業や試験と向き合う中なので、自戒にもしたいなと思います。



市村 尚也さん

高知大学 医学部生活



天王予備校旭教室 OB の市村です。

私は高知西高校を卒業し1浪後、現在は**高知大学医学部医学科**に通っています。

今回は高校・浪人時代の勉強についてと大学生活の様子についてお話します。

私は高校1年の夏に本気で医学部を目指そうと心に決めました。

それまでは教師になるつもりでいたため、テスト期間以外は全く勉強をしていませんでした。

そこから**四当五落の精神**で勉強に励んでいました。

2年生までは順調に成績を伸ばすことができていましたが、3年生になると理系科目の難化などもあり、なかなか成績を伸ばせず、結果高校では医学部に合格するレベルに達することができずに浪人することになりました。

高校時代を通して感じたことは**全国のレベルの高さと睡眠の大切さ、日々の授業の大切さ**です。

私は部活動もしており、なかなか勉強時間を確保することが難しかったため睡眠時間を削って勉強していました。

そのため日中とても眠く、授業に集中できていませんでした。授業中先生の話をして聞いていた方がいいとは思いますが、内職もしつつその科目に集中することが大切だったなと感じています。

浪人時代はセンター試験で高得点を取ることだけを考えて勉強しました。

私はセンター試験と面接の結果で合否が決まる推薦Ⅱを利用して高知大学医学部に合格しようと考えていましたし、センターで高得点をとれるようになると2次試験もそれなりに取れるだろうという考えのもと、2次試験を見据えた勉強はほとんど行いませんでした。

また浪人中、日曜日は勉強しなくてもいいと自分で決めていました。

それにより**残りの6日集中することができましたし、リフレッシュした状態で新たな週を迎えることができたので結果的によかった**と思っています。



医大では**楽しいこともあり大変なことも多い生活**を送っています。

私はバドミントン部に所属しています。

バドミントン部は医学部内で最も人数の多い部活で、たくさんの先輩や後輩と出会うことができました。

そんな中で飲み会や大会、旅行やキャンプなど楽しいイベントに参加することができます。

楽しいこともある反面、勉強では大変なことが多いです。

1年生では化学や統計など医学とはそこまで深く関わる分野ではないものを勉強するため、テストもそこまで難しくなく、他学部の学生と同じくらい自由な時間が確保できると思います。

しかし、2年から医学に関係のある科目が始まり、テストが難しくなるため勉強にとられる時間が多くなってきます。

アルバイトはできなくはないですが、部活・勉強・アルバイトの両立をするととなると正直しんどいかなとは思いました。

医学部での勉強は受験勉強よりもしんどいと私は感じています。

しかし、大学の6年間を乗り越え、**医者として患者さんと接する中で頑張っよかったと思える日が来ると信じて勉学に励んでいます。**

大学生活はほとんどの人にとって楽しく自由で人生の夏休みのような時間になることだと思います。

一方で、人それぞれで違った悩みを抱える時期でもあると思います。

そんな中で**よく学び、よく遊び、よく悩み、皆様がいい日々を送れることを願っています。**



江戸 直樹さん

高知大 医学部での思い出～現在

大学の思い出

授業とテストに追われる6年間でしたが、部活や趣味も十分楽しむことができました。

部活は軽音楽部に所属して、定期的にライブに出演していました。

いくつかのバンドを掛け持ちして、ボーカル、ギターを担当していましたが、特に同級生だけで結成したバンドは6年生まで続けることができました。初心者もいましたが、ライブ出演を繰り返す中で、各々が成長して、ライブのクオリティーも高くなっていくのを経験できたのは良い思い出です。

また、様々な趣味を楽しむことができましたが、その中でも海外旅行はとくに印象に残っています。

初日の宿だけ予約して、その他は具体的な計画を立てずにたくさんの国に行きました。

そのような旅行中には、色々と直面する問題を自分一人で解決する必要が多々ありましたが、それは今の仕事にも生きています。

最後に、入学当初は膨大な授業とテスト、そして医師国家試験を突破することができるのかと不安に思うこともありました。

しかし、気がつけば期末テストも国家試験も無事に終わっていました。これはいま振り返ると同級生の支えのおかげだと思います。

仕事を始めた今でも、なんでも相談できる友がいることは大学で得た大きな財産だと思っています。



今の仕事のやりがいや苦勞

大学を卒業すると2年間の初期研修期間が始まります。
私は高知県西部の拠点病院である幡多けんみん病院に就職しました。

初期研修期間は様々な科を回るので、色々な経験をするができます。
その中で新たに興味を持つことができた科もいくつかありました。
それぞれの科の特色を知ることができたのは、今後、専門科に進んでも役に立つ経験だと思います。
そして、これは基本的診療技能を獲得することにも繋がりましたが、1~2ヶ月と短期的なローテーションを繰り返すため、環境に慣れることができないのは苦勞の1つでした。
しかし、それぞれの科で担当患者さんから感謝してもらえる機会が多々あったことは研修の励みになっていました。

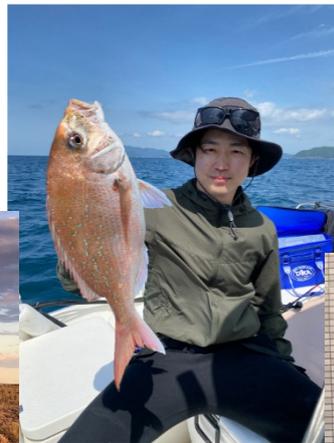
そして、これは仕事のやりがいでもありました。

仕事に慣れた今でも、患者さんから感謝してもらえることは仕事を始めた頃と変わらず嬉しく感じるものです。

また、2年目になり、できる仕事が増えてくると、指導医の先生から任せてもらえる仕事が増えたり、看護師さんから頼られたりすることも多くなりました。

これは大きなやりがいであり、仕事のモチベーションになっています。

3年目からは心臓血管外科に進みますが、2年間の研修で得たものを大事に活かしていけたらと思っています。



豊永 嵩晴さん

京都大学 盗作と創作



いきなり盗作と聞いて、何やら不穏な気分になってしまったかもしれません。

ピカソのこんな言葉があります。

「優れた芸術家は模倣し、偉大な芸術家は盗む」

この言葉を聞いたとき、「どっちも自分で作ってないやん」と率直に思いました。

しかし大学での4年間をいま振り返ったとき、僕は「盗むこと」がいかに究極の業であるかをひしひしと感ずるのです。

申し遅れました。この春、京都大学工学部を卒業する豊永嵩晴という者です。

建築学科に所属しておりました。

まずは京大建築学科でどんなことをしていたか、その説明からいたします。

京大建築学科では、4回生になる時にコースが3つに分かれます。

計画系・構造系・環境系の3つです。

計画系は住宅の間取りを考えたり、まさに美術館を建てる演習をしたり、といういわゆるデザインの分野になります。

イメージしやすい分野だと思います。

構造系は、どう作れば強度が十分かとか、あるいは耐震技術を研究したり、といった分野です。

環境系は室内の音響とか体感温度を考えて、過ごしやすく、かつエコにしていこうとする分野になります。

3回生までは3つの分野を満遍なく勉強していきます。

さて4回生になるとき、私は1個目の計画系に進みました。そこでしていたことは、ずばり、模型をつかってスケッチや図面を描いてプレゼンしてダメだしされて作り直してまたダメだしされて作り直してごくたまにちょっと褒めてもらえて嬉しい、こんな感じです。

担当教員に教わる、というよりは自分のアイデアを先生にぶつけてみる、みたいな感じでしょうか。

大学で教鞭をとるだけでなく、実際に建築家として仕事されている先生たちも多く、おこがましいですが社会に出ればもはやライバルになる方たちです。

だからそのつもりで向こうも厳しくきます。切磋琢磨というやつです。

当然、自分のアイデアが通用しない、あるいは何も湧いてこなくなる時がたくさんありました。

そこで大事になるのが「盗む」ことだと思うのです。

例えば私が好きな建築家の一人に安藤忠雄さんという方がいるのですが、安藤さんはどんなことを考えてあんなカッコいい建築をつくったのだろう？と考えてみます。まずは実物の建築を見に足を運びます。そして本や作品集を読み漁ります。講演を聞きに行ってチャンスがあればお話しする機会を狙います。そうやって探るなかで、少し考え方が分かってくる。そして考えに共感する部分があれば、それを「盗む」。

同じかたちの建築をつくってしまうとそれは犯罪だし何も面白くないですが、考え方や向き合い方を自分の中に取り入れてアイデアをつくっていくことは楽しいものだし、非常に大事なことだと思うのです。

それが「盗作」です。

そしてこれは、学ぶということの本質ではないでしょうか。

最初から考えのある人なんていなくて、見て聞いて喋ったことを自分で咀嚼して、考えがどんどん磨かれていく。

同期の友達と深夜もずっと大学の製図室に残って、ちぐはぐな考えをとりあえず喋っては指摘し合って、少し取り入れて。散らかっている部屋が、かえって住宅をつくる時のアイデアをくれるときもありました。日常に何げなく転がっているアイデアの種を、盗まなければならない。

思い起こせば受験勉強も同じだったかなあ、と思います。ちゃんとした解答なんてなかなかできるようにはならなくて、数学が得意な人の答案を読んで書き方を真似したり、赤本の英作文の小慣れた表現を覚えて模試で使ってみたり。

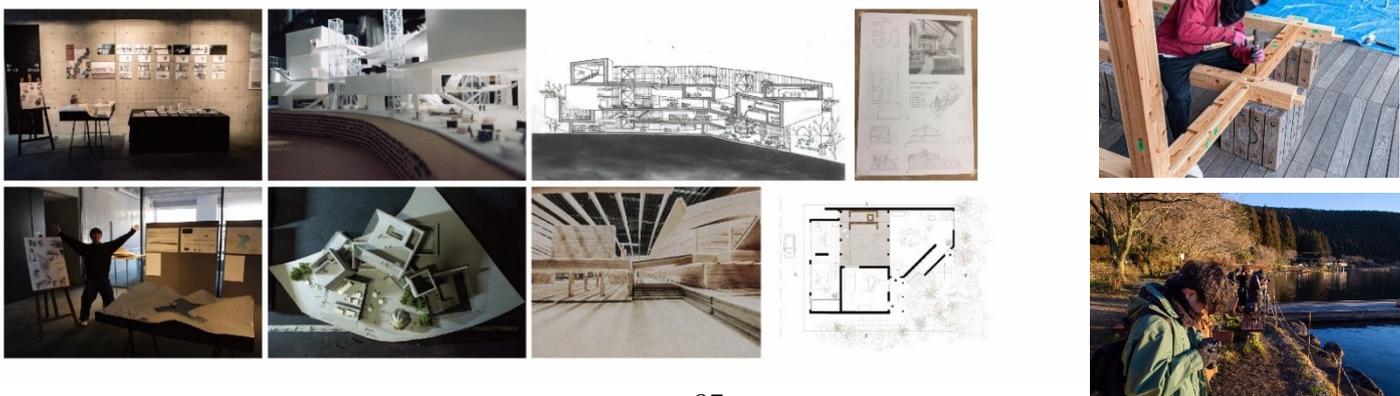
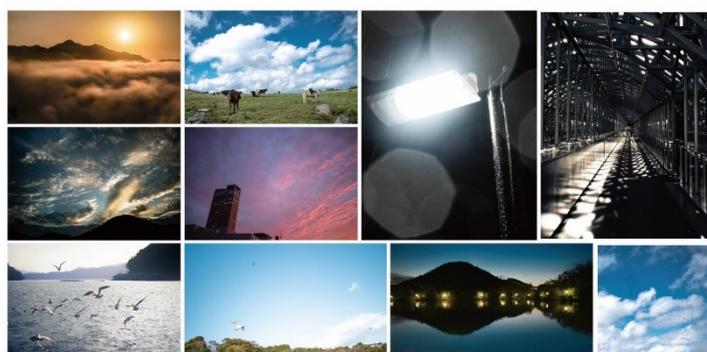
受験勉強(と高校時代の部活動)は、なにかを学ぶために他の人が精いっぱいサポートしてくれる最後の機会だと思います。大学の先生は丁寧に教えることが苦手だし、バイトも働きながら慣れていくしかないし、就職してもそういうものなんだらうと思います。ちょっとギター始めてみようかなあ、と新たな趣味を開拓するときだってそう(これは一回生夏の僕です)。自分で勉強するスキルが必要なのです。受験勉強の目標は、当然まずは希望する進路に行くためですが、先生がどう教えてくれたかとか、賢い友達がどんな勉強の仕方だったかとか、「勉強の仕方を勉強する」ものでもであると、今では強く思います。

私の大学4年間は、創作活動に打ち込んだ4年間でした。建築もそうだし、趣味で写真を真剣にやったり(無論サークルでわいわいするのも目的ですが)、書道パフォーマンスに参戦したり、ギターを弾き語ってみたり(これは下手)。しかしその創作の裏には必ず「盗作」がある。

卒業後は場所を変え、東京大学の大学院に進学し、さらに建築を学んでいきます。さて、どんな創作を、どんな盗作をしようか、あれこれまた悩み続けながらものをつくっていくのだと思います。でもぜんぶを自分で抱える必要なんてなくて、上手い人・賢い人・カッコいい人を真似てみて、自分のものにしていけばいいんです。

最後に私の創作物を添えて、
モチベにでも
暇つぶしにでもしていただければ幸いです。

天王予備校のみなさんを、
かげながら応援しております！



東京学芸大学について



こんにちは。

天王予備校旭教室 OG の濱田桜音です。

私は現在、東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程英語専攻に在籍しています。

天王予備校には中学受験から大学受験まで、約7年間お世話になりました。

今回、OGとして予備校通信に寄稿させていただけるということで、私の大学生活についてお話ししたいと思います。

大学1年生の頃は、コロナウイルスの影響ですべての授業をオンラインで受けていました。

2年生になると授業の半分が対面授業に、そして今年からはほとんどの授業が対面授業で行われています。履修人数が多い授業などは基本オンライン授業、対面授業が行われている場合でも、感染状況によってはオンライン授業に変わる可能性がある、といった規制はまだありますが、大学で授業を受けることができるようになって、毎日の充実度は大きく変わりました。

大学では主に、教育と英語について学んでいます。

教育学では、教師になるために必要とされる知識についてや、中学生、そして高校生を対象とした模擬授業を実際に行いながらわかりやすい授業とはどのようなものか、ということ学んでいます。

それと同時に、英語についての授業も多くあります。今学期は英文学と英文法、そして英語音声学の授業を受講しています。

今学期、特に興味深い授業は英文法の授業です。

この授業では、「今まで“英文法”とひとくくりにして学習した文法は、より細かく分類することができるのではないか？」ということ、論文を読みながら考察しています。

大学では自分の興味のある授業を自由に受講することができて、時間割も自由に決めることができるということが大きな特徴として挙げられることが多いですが、教育学部は一概にそうとは言えません。

1, 2年生は必修の授業がほとんどで、時間割を自由に設定することはできません。

必修授業の単位は教員免許を取る際に必須になるので、落単できないというプレッシャーも大きいです。私は課題の提出状況を頻繁にチェックしたり、同期と図書館で勉強して課題を進めるようにしています。



ここからは授業以外の生活面についてお話ししたいと思います。

私は大学1年生の頃から歯医者でバイトをしています。受付業務や器具の準備、治療のアシストにつくこともあります。周りには塾講師のアルバイトをしている人が多いですが、私は全く違う分野の仕事もしてみたかったので、歯医者で働くことにしました。アルバイトの選択肢も多いので、あえて初めての場所で働いてみるのもおすすめです。

今は月に一回ディズニーに行くことを目標に、バイトに励んでいます。

サークルは、大学のダンスサークルに所属しています。大学構内にある舞踊場で、週に2回ほど、公演に向けて振り付けを作ったり K-POP アイドルのダンスを踊ったりしています。

サークルに入ることの最大の利点は友達の輪が広がることだと思います。私が所属しているサークルは学年や学科関係なしに活動するので、たくさんの人と知り合うことができました。

もし入ってみたいサークルがあれば参加することをおすすめします！



ここまで私の大学生活について書いてきました。コロナの影響で、想像していた大学生活は送れていませんが、毎日楽しく、充実した大学生活であることは変わりありません。どんな状況であっても自分がどう行動するかで生活の充実度は大きく変わるということを、私は大学生になって、またコロナ禍で大学生活を送る中で実感しました。それは勉強でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

自分がどれだけ学生時代に努力したか、どれだけ自分と向き合ったかで、将来は大きく変化します。今は大変かもしれませんが、その先には必ず、楽しい大学生活が待っています！
自分の理想の大学生活を思い浮かべながら頑張ってください。応援しています！



受験～高知大学医学部生として

みなさん、こんにちは。高知大学医学部医学科一年の中山です。

高知学芸中・高を卒業し、1年間天王予備校旭教室で浪人をして、この春から高知大学医学部医学科に通っています。今回は受験生時代と医学部に通っている現在の話をしたいと思います。



高校時代の私はとにかくテニスに打ち込む日々を送っていました。受験のことはあまり深く考えず、なんとなく医学部を目指していました。

部活が終わったら塾にいて宿題や適当に問題を解いて、9時半になったら家に帰るといった日々を過ごしていました。学校の定期テストや模擬試験の前日は、付け焼刃のような勉強をしていて、そのときの自分は、何とかなるだろうと軽く考えていました。そんな日々を過ごしているとあっという間に高知大学医学部総合型選抜試験の当日(9月)になり、甘く見ていた私は当然解けるはずもなく落ちてしまいました。

その後もあまり気合が入らなかった私は、高知大学医学部推薦型選抜(共通テストの点数と面接で決める試験)も落ちてしまって、この状態では一般入試も受かるはずがないと思って受けなかったので、共通テストの次の日から私の浪人生活がスタートしました。

現役時代から通っていて、自習型の天王予備校のスタイルが自分に合っていると思ったので、天王予備校で勉強を続けることにしました。

医学部に入るためなら二浪目もいいよと親は言ってくれましたが、1年で終わらせたかった私は、まず生活リズムから見直すことにしました。

朝の9時半には予備校へ行き、**夜の10時くらいまでは絶対**に勉強をして帰るようにしました。家に帰ってからは、夜更かしは次の日の勉強に響くので、遅くとも1時には寝るようにしていました。

勉強面については、難しすぎる問題は解かずとにかく基礎を固めることに重きをおいていました。

浪人が始まって初めの4か月くらいは、全教科の簡単すぎる内容からしっかりと解いて理解することを徹底しました。

私個人の経験からは、難しい問題を解くのは基礎を固めて「ちょっと得意になってきたなー」を感じる分野からでいいと思います。



もう少し浪人時代の勉強について触れたいと思います。

私は総合型選抜試験で絶対に合格したかったので、そのための学力をつけるにはどの参考書をしなければならないかを浪人が始まってすぐに考え、そこから逆算して1日にどのくらいやればよいかを書き出しました。

そして毎朝、予備校に着いて必ず1日のタイムスケジュールを立てていました。

1日でできればすべての教科に触れておきたかったため、現役時代の反省を活かし、何時何分から何時何分までに数学を何ページといったように1日分のスケジュールを立てて勉強をしていました。

また、毎日勉強詰めになると身が持たないので、日曜日はあまり勉強しないようにして調整していました。

今思うとそれがよかったんじゃないかなと感じます。

そんなこんなで夢にも思わなかった医学部に合格し、今は医学生として楽しく過ごしています。

入学してあまり月日が経ってないので多く語ることはできませんが、中・高・浪人時代よりは断然楽しいです。

いい仲間たちに出会い、いい先輩もたくさんいます。

なにより大学生は自由で1年生の場合時間もあるので、車でどこへでも遊びに行けます。

2年生以上になると医学専門の分野が始まり、半端ではない量の勉強を強いられると聞いています。

上級生になる前に、遊びと勉強の切り替えをしっかりと身につけないといけないなと思っています。また、高知大学医学部では、1年生のうちから病院での先生方の問診を見学させていただいたり、いろんな科の先生が自分の専門科目についての講義をしてくださるので視野が広がりますし、将来の医師像を思い描くヒントとなる経験がたくさんできるので、とても勉強になります。

受験において、まずは

相手(志望校)を知ること、自分の受かった将来だけを思い描き粘り強くがんばること、

そして無理をしすぎないこと。

これらが私が受験を経て大切だと感じたものです。

受験で本気で頑張った経験は、必ずこれからの人生の糧になると思います。

自分を信じて、頑張ってください。応援しています。



うりぼーのいる大学:神戸大学から



皆さん初めまして。天王予備校 OG の酒井菜帆です。

皆さんの中にはこの校舎を見たことがある人もいるのではないのでしょうか？
私は現在神戸大学法学部の学生で、この校舎で実際に講義を受けています。また、タイトルをみて疑問に思った方もいるかもしれませんが、うりぼーとは神戸大学のマスコットキャラです。とてもかわいいので見てみてください。

今回このように予備校通信での執筆依頼をいただけたこと、大変嬉しく思います。ほんの数か月前までは私自身も受験生だったので、ここでは受験についてと大学での生活について少しお話してみたいと思います。

○受験について

私が皆さんに伝えたいのはどうか最後まであきらめないでほしいということです。
私はとにかく共通テストで大失敗してかなり危うい状況で、具体的には結果共通テストの圧縮後の合格者平均を20点下回るという絶望的な状況でしたが、二次で挽回し最低点+50点で合格することができました。
神戸大学は一次と二次の割合がほぼ半々なのですが、二次試験に本気で取り組みばなんとかなったのでどんなに共通テストが難化しても、途中で自信がなくなってもそれまで自分がしてきたことを信じて自分の志望校を変えないでほしいなと思います。本当に切羽詰まった一月に自分がそう思えるくらいに今努力を重ねておいてください。もちろん日々勉強していく中で勉強法への迷いや不安が生まれたりすることもあると思うのでそういう時は頼もしい塾の先生方や家族、友人に頼ってみるのもいいと思います。

私が勉強をする中で何よりも一番大切だと思うことは**わからない問題をわからないままにしないこと、できない問題をできないままにしないこと**ということです。

理解できなければ解答の丸暗記から始めるといつの間にか理解できるようになります。少し意識してみてください。

○大学での勉強について



今現在法学部に通っていると冒頭で述べましたが、ずっと学びたかった学問を学べるということは本当に楽しくて幸せなことです。

←この写真は実際に授業が行われている教室で、今はもう授業も原則対面なので、ここで法学部生全員が一緒に講義を受けています。

神戸大学の法学部/法科大学院は有名で素晴らしい先生がたくさんいて、そういった先生方の手厚い指導のおかげもあって**司法試験の合格率も高い**ようです。

法学部を考えている皆さんはぜひ神戸大学も検討してみてください！

私は検察官を志しているので法曹コースに入り、できれば学部を三年で卒業し院に進みたいと考えています。受験が終わっても努力し続けなければならないことに変わりはありません。

ただ、自分の好きな勉強ができるという点では大学での勉強はとても面白いです。

○学校生活について



私は大学で神戸大学交響楽団、法律相談部、古寺探訪同好会の三つのサークルを掛け持ちしています。

左の写真は古寺探訪同好会の活動で行った清水寺です。神戸自体素敵なお店も多いのですが、京都も大阪も近いのですぐに遊びに行けます。

私もテンションが上がってついユニバの年パスを買ってしまいました！

サークル活動を三個掛け持ちしているといいましたが、今はサークルだけでなく、裁判所での学生ボランティアに参加したり、夏には高知に戻ってよさこいをしたり免許も取ることも考えています。

これから先の人生においてもきっと役に立つことだと思って、
色々なことにチャレンジすることになっています。

大学受験をする目的は自分がこれから先どんな環境で勉強していくかを決めるという事だと思います。

神戸大学の学生には同じ目標を持った人が多いし、みんな真面目ですが、勉強だけというわけでもなく、勉強はしっかりしたいけれども大学生活も楽しみたいと思っていた自分にとっては良い環境だったなと感じています。

最後になりますが、大学生になると高校の時と比べて自由に過ごせる時間が増えて楽しいことも多くなります。

想像しているよりもずっと充実した日々を過ごせると思います。

今はとにかく志望校合格目指して頑張って勉強してください。応援しています！



